

町民懇談会の結果					
No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
1	1-1	「1-1子育て支援、4子どもの交流機会創出、②英語教育・異国文化体験事業（戸田市生徒との交流）」について。戸田市生徒との交流が異国文化体験等につながる理由は何か。また、情報発信方法及び交流時の中学生の参加率は。	天栄村のブリティッシュヒルズにて交流活動を行っている。当該施設内では、全て英語を用いており、また通貨もポンドとなっている。戸田市生徒と同施設を1泊2日利用し、英語教育と交流を併せて行っている。情報発信については、保護者に行っており、希望者が参加している。本町中学生及び戸田市中中学生各20名を定員とし実施したところであり、今年は本町高校生まで対象を拡大した。	ご指摘のとおり、1-2-1 学校教育の充実、主な実施事業の⑧に戸田市児童生徒との交流の記載があるため、1-1-4 子どもの交流機会創出の主な実施事業②英語教育・異国文化体験事業（戸田市生徒との交流）の文言のうち「（戸田市生徒との交流）」を削除しました。	群岡
2	1-1	「1-1子育て支援、1保育ニーズ調査の実施」前期計画で記載されていた事業はどうなったのか。また、「1-1子育て支援、3各種子育て支援、⑪要支援児童等の見守り体制の強化」について、前期計画記載「居場所の整備」は。さらに、「1-1子育て支援、4子どもの交流機会創出、①沖縄交流事業」は、前期計画記載「いわき交流」がどうなったのか。	1-1-1保育ニーズ調査の実施については、担当課に確認して回答したい。1-1-3⑪の居場所の整備は、芝草の⑫子育てコミュニティ施設が開所したため、今後は活用となっている。また、1-1-4①いわき交流については、コロナ禍で直接の交流が中止したが、オンラインで交流が図られ、授業の一環として学校間の交流を行っているところである。	いわき交流については、質疑への回答のとおり、授業の一環として行っているため、記載していません。	群岡
3	1-4	「1-4スポーツ」奥川マラソンは、地域住民の減少で存続が危ぶまれていると思うが、今後も継続していけるのか。	近年は、コロナ禍の影響により3年間中止している。来年以降どうしていくかは担当課で検討を行っている。	奥川健康マラソン大会の存続については、関係団体と協議を行う予定であり、今後の開催について未定のため、記載していません。	野沢

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
4	2-1	「2-1農林業、現状と課題・取組の方向性」ミネラル野菜・米・菌床キノコの三本柱と書いてあるが、具体的な内容や取組方針は。また、ミネラル野菜については、高齢化で離農者も出ていると聞く。販売面だけでなく、栽培者の確保にも注力してほしい。さらに、道の駅の冬場の野菜不足をどう考えているのか。	米であれば、主食用米以外での活用、キノコはシイタケとキクラゲの通年栽培を基本とした三本柱。ミネラル野菜の高齢化は大きな課題である。キノコは近年新規就農や企業参入もあった。農業分野でも数は少ないが、毎年1~2名程度の新規就農者がいる。だが、離農者の方が多い。ミネラル野菜の品ぞろえの面では、奥川地区生産者に頼っていた状態でもある。よりっせの冬期間の野菜販売については、以前からの課題であり、町としては、耐雪型パイプハウス設置補助等行っているが、増加には至っていない。冬期間の野菜不足は、会津管内全体の課題でもある。ミネラル栽培の後継者、多品目販売への方策等に関して意見が出された旨、担当課に伝達する。	2-1-4 農林産物の産地化等に生産量の確保について記載しています。詳細については、全体的な計画のため記載が困難ではありますが、ご指摘のあった課題を踏まえて具体策を検討していきたいと考えます。	奥川
5	2-1	「2-1農林業」空き家の柿を伐採する事業等はあるのか。	有害鳥獣対策の中で、未利用果樹木の伐採があり、以前から取り組んでいる。空き家単独での伐採は難しいと思うが、集落でまとまって相談すれば対応できると思われる。具体的に改めて担当課へ相談してほしい。	2-1-5 有害鳥獣対策の強化に果樹木の計画的な整理を記載しています。ご指摘の内容は、個別で対応しており、有害鳥獣対策事業として整理しています。	新郷
6	2-1	「2-1農林業」農業公社の設立検討内容について。林業に関しても検討しているのか。検討の進展状況が分かれば教えていただきたい。	先日第5回の検討会議が開かれていた。先進地視察等を行っている段階であることは把握しているが、検討内容の詳細については、分かりかねる。担当課に伝えさせていただく。	現在、農業公社設立検討会の中で、ご指摘のあった点も含めて検討を行っているところです。	新郷

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
7	2-1	「2-1農林業」三本柱に力を入れていることは分かるが、ミネラル野菜農家は高齢化が進み、後継者の育成、これからミネラル野菜を栽培していく人を育てる必要があると思うがどうか。	少人数だが、新規会員の確保と、栽培指導専門員2名及び関係機関との連携も考えている。新規就農者より離農者が多いのが現状である。道の駅の野菜直売維持にもかかわってくるため、試行錯誤している。担当課に伝達させていただく。	現在、原点に戻り取り組みをはじめています。計画の中では2-1-2 担い手の確保・育成や2-1-4 農林産物の産地化等で整理しています。	新郷
8	2-1	「2-1農林業、2担い手の確保・育成」地域の実態として、担い手不足が地域のコミュニティ希薄化につながっている要因と思う。例えば、子育て支援等あるが、結婚対策や出会いの場の創出を行う事で、担い手対策や後継者対策につながっていくのではないかと思う。農業法人や農業公社も、担い手がいなければ成立しないと思う。担い手を増やす、2-4移住定住にIターンについて記載するなど、具体的な担い手対策が必要ではないか。	後継者対策については、2-4移住定住、1受入れ体制強化と担い手の育成についてのところに記載している。⑦後継者対策（結婚支援）事業を盛り込んでおり、⑧結婚祝金もその関連事業の一つである。	ご指摘のとおり今後の方向性について、2-4-1 移住・定住の受入れ体制の強化と担い手の育成の項目に後継者対策（結婚対策）事業として記載し、整理しています。	群岡

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
9	2-1	「2-1農林業」耕作放棄地が増え、集落周辺が原野化し、有害鳥獣の隠れ場所となっている。また、自治区と49号線との間の原野化に伴い、見通しが悪い状態になっている。耕作放棄地の所有者が不明もしくは所有者が遠方にいるため対応することが困難である。町に整備をお願いしたい。荒廃地を減らし、再整地できれば、新たな借手手を創出することもできるのではないか。	有害鳥獣対策で取り組める方法としては、未利用果樹木の伐採と森林環境交付金による森林の間伐事業と思われる。また、耕作放棄地対策の事業もある。未利用果樹木の伐採及び間伐事業も、町だけで実施することは困難であり、集落と協働でなければスムーズに進めることができない。また、いずれも実施後の管理も考えていかなければ実施前の状況にすぐ戻るため、管理方法を検討していくことも必要である。荒廃地の再整地については、まとまれば圃場整備で行う方法が考えられるが、これもまずは自治区、所有者の承諾が必要となる。	2-1-1 農地・森林の有効活用にて耕作放棄地の調査と解消、2-1-5 有害鳥獣対策の強化にて有害鳥獣が近寄りにくい環境づくりで整理し、記載しています。 なお、土地所有者や集落などの主体的な取り組みを支援する形で事業にしています。	群岡
10	2-1	「2-1農林業」耕作放棄地内で使用できる自走式草刈機の貸付けを行ってもらえないか。また、建設水道課で貸与している町道用草刈機について使用時に故障した際、使用者が修理代を負担するのか。	町道の草刈機貸与は、建設水道課で行っている。耕作放棄地については、農林振興課になる。意見を共有させていただく。また、貸与草刈機使用時の故障については、町で保険に加入しているため、故意によるものでなければ、使用者の負担はないと思うが確認して返答したい。	農業公社の事業として、計画しており、今後説明をしていく予定です。 ご指摘の内容は、具体的な内容であるため計画には反映しないこととしました。	群岡

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
11	2-1	<p>「2-1農林業」現状と課題及び取組の方向性に農業公社について記載があり、大きなテーマと思う。しかし、具体的な取組で説明等されておらず、後期基本計画の中でも大きく位置付けるべきだと思うが。</p>	<p>担当課では、農業公社は担い手確保の施策にも関連しているが、農業の様々な課題解決ができるよう検討しているとのことである。担当課に共有させていただく。</p>	<p>農業公社については、現在、公社設立検討会において検討を行っており、この中で公社が行う事業について広く調査・検討している段階であるため、取組の方向性の項目で「山積する町農業課題の解決のため農業公社の設立を進めます」と整理しています。</p>	群岡
12	2-1	<p>「2-1農林業」ミネラル野菜・米・キノコを掲げているが、特にミネラル栽培農家の高齢化が進み、『これが町の産業だ』といえる状況ではないと思う。ソバについては、遊休農地防止のため作付しているが、今年は収量が悪く、ソバを作らなくなれば、遊休農地が増えることになる。新たに『西会津町といえばコレ』という作物を振興すべきではないか。また、地域おこし協力隊を町で相当数雇用しているが、芸術村にすることが多く、一般町民との付き合い・関わりがないのが現実だと思う。農業分野に配置して、農業を担ってもらう方法を考えてはどうか。</p>	<p>耕作放棄地対策として、ソバの作付が行われてきた。近年では、新しい作物として、エゴマを栽培している地域もある。地域おこし協力隊については、有害鳥獣分野、企画情報課では、集落支援担当がいる。集落支援で野沢・尾野本地区の皆さんと触れ合う事は少ない状況である。農林振興課としては、農業分野への地域おこし協力隊の採用を検討しているようである。 担当課に伝えさせていただく。</p>	<p>今後、農業公社で試験栽培等を行いながら、園芸作物等の栽培に関して検討していく考えであり、現段階では具体的に記載できる品目がないため、計画には反映はしないこととしました。</p>	尾野本

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
13	2-1	「2-1農林業」ミネラル野菜は、利益は出ているのか。ミネラル野菜の肥料は高く、儲からないと聞いている。また、耕作放棄地についても、以前聞いた話では、作らなければ課税額が高くなるといった話だった。ただ高くなるということではなく、丁寧な説明や解消に向けた対応を考えるべきではないか。	ミネラル野菜については、野菜の生産と健康づくりを掛け合わせ、その振興を図ってきたところである。ご理解いただきたい。栽培方法については、有機栽培のほか様々な方法があり、農家各々が取り組んでいるが、町としての中心はミネラル栽培であり、健康と結び付けている。耕作放棄地の課税については、国の制度となっているため仕方ない部分もあるが、解消に向けた丁寧な説明に努めていきたい。担当課に共有させていただく。	2-1-4 農林産物の産地化等にて農家のための「ミネラル野菜」を目指し、主な実施事業として②農家のニーズに基づいた直売施設の在り方の検討で整理し、記載しています。	野沢
14	2-3	「2-3観光・交流」9月議会定例会でモンベルとの協定について話が出ていたが、具体的な取組の記載がない。町内にも活用できるトレイルルートはあり、町として本気で力を入れて取り組むためにも計画書に記載した方がよいと思うがどうか。	計画書内に個別企業名を記述しなかった。飯豊山・鏡山周辺環境整備事業や友好交流市町村や企業・大学等との交流活動の継続・拡大等で整理し反映させている。モンベルとの連携については、力を入れており、担当課にも共有させていただく。	現在、町ではモンベルに資源調査を委託し、地域資源の現状・課題等の抽出を行っていますが、計画に反映させる段階には至っていないことから、計画の具体的な取組の記載については、明文化せず、2-3-1 観光資源の発掘と磨き上げ（ブラッシュアップ）で整理しています。	新郷

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
15	2-4	「2-4移住・定住、2住環境の整備」空き家が増えている。空き家バンクへの登録物件もあるが、商談がまとまるのは難しいと聞いている。空き家の老朽化が進めば、取壊すしかない。解体後に固定資産税が上がるなどデメリットもあるようで、町として、危険空き家に対してどういった対応をしていくのか。	空き家利活用は、商工観光課。危険な空き家等は町民税務課で担当している。上野尻は空き家利活用の最先端だと思っている。危険空き家は新郷・奥川地区が多いようである。危険空き家の撤去は毎年補助金を交付して撤去している。窓口は町民税務課となる。4-4-1⑥空き家の適正管理に関する助言・指導を盛り込んでいる。 空き家解体後の固定資産税の増加については、増となるが、大幅な増加にはならないと認識している。担当課に共有し、周知に努めていきたい。	4-4 消防防災・安全対策の「1 防火・防災啓発活動の強化」の説明文について、「また、空き家の適正管理に向けた周知や指導などの取り組みを強化します。」に修正しました。	群岡
16	2-4	「2-4移住・定住、1受入れ体制の強化と担い手の育成」担い手の確保について、計画記載のとおり、人員が減少していく中で、担い手の確保が進めば、様々な問題が解決すると思う。そのため、婚活や若者の出会いの場創出を重点的にしてもらえばいいと思う。	ご意見があったこと、商工観光課に共有させていただく。	ご指摘のとおり、後継者対策については、2-4-1 受入れ体制の強化と担い手の育成の主な実施事業⑦後継者対策（結婚対策）事業として記載しています。	群岡
17	2-4	「2-4移住・定住」結婚祝金は今も支給しているのか。	支給している。	結婚祝金については、2-4-1 受入れ体制の強化と担い手の育成の主な実施事業⑧に記載しています。	群岡
18	3-2	「3-2医療、1診療所の充実、⑤医療人材の受入れ」とはどういった内容か。	医療系学生の受入れから、将来的な医療人材の確保と定着を想定している。今年度8月に医療系人材の受入を行い、地域の実情を知る機会を設けた。医療行為はしていない。	事務局の回答のとおりです。で、「⑤医療人材の受入れ事業」としてそのまま記載します。	奥川

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
19	3-3	「3-3高齢者福祉、取組の方向性」の地域包括ケアシステムについて、また、デイサービスやショートサービスについて具体的な取組に記載があっても良いと思う。現状、マンパワー不足の状態と思われる。さらに、利用者への取組だけではなく、働いている職員への取組も記載してはどうか。	担当課に共有する。人員の確保が課題である。地域包括ケアシステムについては、施設介護が少しずつ変化していると聞いている。地域包括としては、在宅介護を広めたいが、ショートサービスの利用が増加傾向であり、通所型在宅介護サービスを準備しても利用者が少なくなってきたとのこと。在宅で支える力が低下しつつあるため、対策強化について、担当課に伝達する。	ご指摘の内容は、第8期介護保険事業計画〔第4章地域包括ケアシステムの深化と推進〕において、介護・医療・地域の見守り・生活支援・介護予防を包括的に推進する旨を定めていることから、計画には反映はしないこととしました。	奥川
20	3-3	「3-3高齢者福祉」町内全域の高齢者率は48.11%となり、次期計画時には50%超えると予想される。高齢者が増えれば、周辺で支えていくことが大変になる。高齢化に対応した地域活性化策として、生きがい・サロン活動を盛り込んでいく必要があるのではないか。	サロン活動は活発に行われており、3-3-2高齢者の生きがい対策でサロン活動について記載している。また、老人クラブへの支援も記載している。担当課に共有させていただく。	ご指摘のとおりで、計画では3-3-2 高齢者の生きがい対策に記載しています。	群岡
21	3-3	「3-3高齢者福祉」さゆりの園等、さゆり公園周辺施設が依然に比べ静かになったと感じており、今後利用することになるかもしれないが、入りたいと思わない状態である。	高齢者施設については、コロナ禍で一般の方が入りできない状況が一因ではないかと思う。また、以前行われていた施設利用者の散歩等もしづらく、外出していないことも要因と思われる。閉鎖的であるという印象を与えていると思う。コロナが落ち着けば、盆踊りといった行事も復活すると思われる。コロナによる影響が大きいと思っている。	ご指摘の内容は、事務局回答のとおりであり、コロナ禍による影響もあると考えます。	野沢

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
22	3-4	「3-4社会福祉、2地域の支援体制、⑧介護タクシーや福祉タクシー」の検討の内容は。導入に向けた予算等を含めて検討するのか。	町総合政策審議会でも同様の質問及び意見があり、本町において、介護タクシー等が必要になっている実情から、検討してほしいと要望があった。今後のニーズに対応し、前向きに検討するためにも、後期基本計画に記載している。	ご指摘の内容は、事務局回答のとおり、3-4-2 地域の支援体制⑧に記載しています。	奥川
23	4-1	「4-1雪対策、2住宅周りの除排雪、④貸出機械の拡充及び操作研修と用途緩和」緩和の内容について。除雪機の管理車庫を作ることとは可能か。 また、特定の地域に貸出されており、新規に借りることが出来ない状態である。除雪機貸出しの制度について除雪会議等で詳細に説明してほしい。	除雪機を町で15台所有している。現在の貸出は、組合に対して貸出しを行い、除雪車で除雪できない部分を組合にて除雪してもらう方式としている。緩和内容は、除雪困難な高齢者宅において、玄関から道路まで使用できるなど柔軟に運用できるように検討している。詳細な説明要望については、担当課へ伝達する。	管理車庫の建築は現状考えていません。 除雪機については、令和4年度、国より13台追加（拡充）で貸出となることから、研修会の検討や用途緩和についても併せて検討を行っているところです。 具体的な内容は、計画には反映はしないこととしました。	奥川
24	4-3	「4-3情報通信」ICTの活用を推進しているが、学校での取組はよく見かける。他に町の事業としては何かあるのか。また、既にスマホ等を使用している人に対して支援はあるのか。	スマホやタブレット教室を開催しており、希望集落の集会所で開催している。すでにスマホ等を持っている人に対しては、より使える・便利になるような支援を行っている。	4-3-2 西会津町デジタル戦略の推進の中で各種事業を展開しています。今後は取組事業について分かりやすくお伝えしていきます。 また、ご指摘のスマホ等の使用支援については、事務局回答のとおりですので、具体的な内容は、計画には反映はしないこととしました。	群岡

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
25	4-5	「4-5自然・環境保全」原発事故について記載があるが、特定の河川の水質検査だけを行う内容であれば、記載の必要性が低いのではないか。	意見があったことを担当課に共有させていただく。	モニタリングポストを設置しての監視は、今後も継続して行うため、4-5-5 放射線量の管理に追加しました。	群岡
26	4-5	「4-5自然・環境保全、5放射線量の管理」前期計画時、空間線量調査について記載があったがなくなっている。今後廃炉作業等が行われるため、取り組みを継続した方がいいのではないか。要望する。	空間線量調査については、モニタリングポストを継続設置しており、また町の空間線量調査については、以前のような頻度ではないが、調査を継続している。要望があったことについて担当課に共有する。	モニタリングポストを設置しての監視は、今後も継続して行うため、4-5-5 放射線量の管理に追加しました。	群岡
27	4-6	「4-6上・下水道」集落で管理している水道施設があるが、高齢化・人口減少により今後維持が困難になると予想される。町として支援をお願いできないか。また、ほかの集落の水道施設整備については、スピード感をもった対応をお願いしたい。それから、集落の役員のなり手がいない。登用することは難しい。そういった集落全般について相談できる窓口はどこか。	集落での維持管理が厳しいことについて、担当課に共有させていただく。 集落支援については、支援にあたっている協力隊員を訪問させるので、相談していただきたい。	集落での維持管理については、4-6-1 水道施設の適切な維持管理の具体的な取組の中で、「地区の要望を踏まえて積極的な支援を実施します」と記載しています。	群岡
28	5-2	「5-2行財政運営、5信頼される職員」常識的な話だが、あいさつをしても返さない職員がいる。基本的なあいさつを徹底して。	指摘があったこと、申し訳なく思う。懇談会で出た話として共有させていただき、改善していきたい。	職員研修等で指導を徹底するため、ご指摘の内容は、具体的な内容であるため計画には反映しないこととしました。	群岡

No.		意見・質疑等	事務局回答	計画への反映	備考
29	5-3	「5-3新たなまちづくり、1野沢まちなかの再生」では、現状として店がなくなり、これからやめようと考えている店が多い。どのように再生するのか。	野沢まちなかは、本町の中心市街地であるが、空き家・空き店舗が増えている。今後こうした資産をどう生かすのか、また、旧役場庁舎や旧尾野本小学校講堂などの遊休施設があるため、各場所を点で捉えるのではなく、線で結び付けて、活性化に向けて検討・再構築していきたいという内容の事業である。	委員より、民間主体の取り組みを誘発し、増やしていく重要性について意見があったことから、「民間の取り組みを促進していきます」と文言を追加しました。	野沢